

# まごころ茨木

2022

Vol. 2

1 Jan.

特集

脳神経外科

血管造影装置の果たす役割

新年のご挨拶

より過ごしやすい環境になった茨木みどりヶ丘病院をご紹介します

リハビリテーション室をリニューアルしました

電子カルテシステム導入のお知らせ

診療所のご紹介

栄養課だより

INFORMATION



## 新年のご挨拶



社会医療法人祐生会 理事長  
**甲斐 史敏**  
Fumitoshi Kai

新年明けましておめでとうございます。昨年上半期はコロナ禍と東京五輪に悲喜こもごもの一年になりました。しかしながら、コロナワイルスワクチンの接種率が高まるにつれて急激に感染者が減少し、社会が正常を取り戻しつつあり、病院もほぼ通常診療に戻っています。第6波到来の恐れが懸念されますが、ウィズコロナで通常診療を継続し、地域医療貢献に邁進してまいります。

みどりヶ丘ヘルスケアグループは昨年12月21日に創立50周年を迎えました。1971年、故甲斐敏晴名誉理事長が高槻市に60床の病院としてみどりヶ丘病院を開設し、地域の皆さんのお力を頂戴しながら今日を迎えさせていただきました。コロナ禍が収束しましたら、式典の開催等も予定しています。

茨木みどりヶ丘病院の一年を振り返りますと、昨年4月に脳神経外科 渡部部長、救急科 西植先生に着任いただき、特に救急医療での地域貢献に尽力してまいりました。医療体制の充実を図り、高槻みどりヶ丘病院と連携し日曜日救急を開始しました。2021年4月は50件程度の救急搬送実績でしたが11月には150件、1日5件近く受け入れるようになりました。整形外科の手術件数も増加し、年300件を超える見込みです。本年もホスピタリティの向上を最優先とし、看護体制の強化、脳神経外科常勤医・循環器内科常勤医の増員等を予定し、地域貢献に邁進しています。

また、昨年は茨木商工会議所の協力を頂戴しながら、新型コロナワクチンの職域接種に参加

させていただきました。さらにその貢献を評価ください、表彰までしていただきました。関係各所の皆さんに心から感謝申し上げます。

今後も茨木みどりヶ丘病院として求められている役割に積極的に勤め、地域の皆様ともこれまで以上に信頼関係を築いていきたいと考えています。

我々みどりヶ丘ヘルスケアグループは真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献してまいります。皆さんのご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとうございます。

茨木みどりヶ丘病院は昨年、外来および救急患者さんの受け入れがよりスマーズになるよう外来部門の改装をし、併せて救急室を新設いたしました。それにより、救急患者さんの搬送件数が飛躍的に増加しています。

外来部門では循環器内科、糖尿病内科、脳神経外科の診察日を増やし、多くの患者さんのご要望にお応えできるように努力しております。

さらに、昨年10月には血管造影室を新設しました。今後、脳疾患および循環器疾患に対して、より高度な診断および治療手段になるものと考えております。

当院は、急性期疾患の治療とその後のリハビリ、さらには長期療養にも対応した混合型の病院として、地域医療に貢献してまいりました。これからも地域の皆さんにより一層良質で安全な医療を提供できるように努力してまいる所存です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



社会医療法人 祐生会  
茨木みどりヶ丘病院 病院長  
**朱 明義**  
Akiyoshi Shu

社会医療法人 祐生会  
茨木みどりヶ丘病院 副院長  
**清水 健太郎**  
Kentaro Shimizu

新年あけましておめでとうございます。約2年にわたる新型コロナウイルス感染症により、経済や医療、さらには日常生活に甚大な影響が及んでいます。私どもの病院におきましても、入院患者さんへの面会制限を行わざるを得ず、患者さん・ご家族の皆さんには、たいへんつらい思いをしていただいている。一日も早く新型コロナが収束し、皆さんに元通りの日常が戻ってくることを心より願っています。

さて、当院では、2020年より外来改修工事・救急室新設・MRI装置導入・CT機種変更を、2021年には、脳神経外科開設・アンギオ装置導入・病棟改修工事などを行い、救急搬送の件数や入院患者さんの数が徐々に増加しております。まだまだ改善していかなければならない課題が山積みですが、地域の皆さんに「診て(見て)もらってよかった」と思っていただける病院を、今後も目指していく所存です。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

## より過ごしやすい環境になった茨木みどりヶ丘病院をご紹介します



当院では2020年7月の外来部門の改修工事を皮切りに、新しい検査機器類の導入から病棟内の改修を行っています。

2021年は、救急車をスマーズに受け入れ緊急対応ができるように救急室をリニューアルしました。さらに、広々としたゆとりあるリハビリテーション室の改裝と、脳外科疾患・循環器疾患の検査ができるアンギオ室を増設しました。これらのリニューアルにより、心地よく療養生活を過ごしていただける環境に変わったのではないかと思います。

今後も1階から4階の病棟を順次改修してまいります。昨年11月から開始しており、病棟内の壁やドア、床、天



## 特集 脳神経外科

# 新導入 血管造影装置 「Azurion 7 B20/15」の果たす役割

当院では2021年10月に血管造影装置「Azurion 7 B20/15」を導入しました。血管造影装置とは、血管内に造影剤を注入しその流れをX線で撮影することで、血管の走行や分布、形状等を観察する装置です。今号では、脳神経外科領域において血管造影装置による脳血管撮影が果たす役割について解説します。脳血管撮影は検査のみならず治療にも用いられます。

## II 脳血管検査について

検査の目的としては、脳梗塞に関連して、頸部や脳血管の詰まりや流れが悪くなっているか調べることにあります。また、くも膜下出血や脳出血に関連して、血管に瘤（コブ）や血管奇形ができていないかなどを調べることもあります。さらには腫瘍に栄養を運ぶ血管を突き止めることもあります。そして、血管撮影検査の情報とCTやMRI、脳血流検査などと合わせて診断し治療を行っていきます。



脳神経外科 部長

渡部 琢治

Takuji Watanabe

日本脳神経外科学会脳神経外科専門医

## II 治療について

血管造影装置は、近年では検査のみならず、治療にも多く利用されています。

例えば、脳動脈瘤に対する治療は、頭を切って動脈瘤にクリップをかけて根治を目指す開頭クリッピング術を行うことが一般的でした。しかし、近年はカテーテルと呼ばれる細い管を血管内で使用して、コイルと呼ばれる金属を脳動脈瘤内から詰めることにより根治を目指すコイル塞栓術が増加しています。頭を切らない治療により、従来の開頭術では到達困難であった脳の深部の動脈瘤の治療が可能となりました。また、超急性期脳梗塞の血管閉塞部に対して再開通を行う経皮的血栓回収療法を行うことも可能となりました。

この治療を用いることにより、従来ではtPA静注療法（発症から4時間半以内に薬を投与）や単独では再開通困難であった症例についても治療が可能となっています。脳血管以外にも、頸部の内頸動脈狭窄病変に対してこれを解除するための頸動脈ステント治療が可能になっています。これに関しては、従来は全身麻酔下に直接病変部を切開して治療を行うことが一般的でしたが、ステント治療では、通常局所麻酔で頸部を切らずに治療が可能になりましたので、高齢の方や心疾患を合併された方でも治療ができるようになりました。心臓の冠動脈では古くから行われて



いる治療でしたが、頸動脈病変に関しても保険適応となり、一般的な治療へと認可されています。

## II 治療におけるリスクについて

脳血管撮影検査や脳血管内治療においては、メリットだけでなく、リスクについての説明を行います。具体的には検査中の脳梗塞発症や造影剤アレルギー、穿刺部皮下血腫などが挙げられます。術前に十分なインフォームド・コンセントを行い、納得いただいた上で、検査、治療に臨んでいただきます。脳血管撮影は患者さんに侵襲のかかる検査や治療のため、より安全で効率的な検査機器が求められます。

当院でこのたび導入したPhilips社製の「Azurion 7 B20/15」は、バイプレーンのフラットパネルを搭載した最新鋭の血管造影装置です。脳血管系以外にも、循環器系（冠状動脈、心臓血管、四肢血管）や腹部系にも使用できますが、特に脳血管内治療において高い視認性と治療ワークフローを確保することが可能なモデルです。その他、従来の装置に比べて50%以上の放射線被ばくを低減したことや、最新の技術を用いて、従来CTでしか撮影できなかった断層撮影や3D撮影が可能になりました。

血管撮影検査は誰もが広く受ける検査ではありませんが、脳神経疾患の診断、治療においては非常に重要な役割を果たしています。最新鋭装置の導入により、より一層安全な血管撮影を行えるようになり、精度の高い診断、治療を提供する事が可能となりました。脳神経疾患に関してお困りの方は、是非ご相談いただければと思います。

## リハビリテーション室をリニューアルしました

2021年7月にリハビリテーション室を3階へ拡充移設しました。明るくアットホームに、そして意欲的に体を動かしたくなる空間にとの想いから、日当たりと風通しのよい160m<sup>2</sup>の広々とした空間が完成しました。窓からは茨木の町を一望でき(残念ながら万博記念公園の太陽の塔は見えませんが…),近隣の保育園・小学校からは毎日子どもたちの声も響き渡り、患者さんからは「いつでも気軽に来られてここに来ると力をもらえる」と好評をいただいています。

また、今年度に入り、療法士(理学・作業・言語)などスタッフが総勢12名へと増員しました。また、移設に伴い新たなりハビリテーション機器や日常生活動作練習用具、自主トレーニングスペースも設け、急性期の整形外科手術後の患者さんや、脳外科・内科等の多様な患者さんにも対応できるようになりました。外来患者さんについては、競技復帰を目指

す地域の学生の方や仕事に就きながら完治を目指す会社員の方の夜診も含めて、2階のリハビリテーション室にてリハビリ治療を提供しています。今後も高槻みどりヶ丘病院・茨木みどりヶ丘訪問看護ステーションをはじめ、地域の病院・診療所・事業所との連携を取りつりリハビリテーションを提供してまいります。



## 電子カルテシステム導入のお知らせ

当院では、2021年10月に電子カルテシステムを導入しました。これに伴い、外来受診の受付は「自動再診受付機」で行い、出力される外来基本票を外来受付窓口にご提出いただくよう変更となりました。スタッフがご案内いたしますので、不明な点があれば遠慮なくお声掛けください。

電子カルテは、従来の紙カルテと比べ、情報の確認を容易に行うことができます。院内の情報共有・伝達がスムーズとなり過去の検査結果やレントゲン写真も簡単に比べることができますので、診療の質の向上や患者さんへ分かりやすく情報を伝えすることが可能となります。また、茨木みどりヶ丘病院は、高槻のみどりヶ丘病院と連携して診療を行っていますが、本システム導入により、患者さんのID番号を統一させていただいています。これにより、診療内容を2病院でスムーズに確認することが可能となり、より一層連携を密にして診療することができるようになりました。茨木市にお住まいの方も、茨木みどりヶ丘病院では行うことができない手術等を

高槻のみどりヶ丘病院にて受けすることができます。その後、速やかに茨木に戻って診療を続けていただくことができ、ご安心いただけるのではと考えています。

本システム導入により、受付や診察券の変更等ご不便やご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いします。茨木みどりヶ丘病院では、安心安全な医療提供に向け今後も様々な取り組みを行ってまいります。



## 診療所のご紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院と共に地域の医療を支える「医療連携協力機関」をご紹介します。

### まえ ば 前羽クリニック

春日丘高校のそば、大阪府三島府民センター前にある前羽クリニック。とても気さくな前羽宏史院長に、かかりつけ医としての想いを聞かせていただきました。

#### ●開院したきっかけは?

私は茨木で生まれ育ち、生粋の茨木大好き人を自負しています。自分を育んでくれた茨木の地域医療に貢献できればと思い開院いたしました。

#### ●先生の専門分野は?

一般内科と循環器内科を標榜していますが、専門は循環器疾患の基礎を、大学病院の心臓集中治療室にて循環器救急疾患を経験してきました。循環器疾患はスピードが命ですので、これらの経験を活かした精度の高い診断・治療を行うようにしています。

#### ●クリニックの特徴は?

大学病院では、画像診断(心臓超音波検査や心臓核医学検査)を駆使した診断・治療を行っていました。心不全などの疾患は、その場で緊急か否かをすぐに判断しなくてはなりません。常に正確な初期診断を行い、早期に治療を行うことを信念としています。

#### ●かかりつけ医としての想いは?

専門外であってもできる限りのことをしてさしあげたいと思っています。まずは患者さんを診て、今何が一番大事か、ご希望は何かを優先した医療を提供したいと考えています。

#### ●メッセージ

ちょっと気になる症状、不安なことなどがありましたら、予約なしでもいつでもご来院ください。地域の皆さん的心身の拠り所となりたいと思っています。



まえ ば ひろ ふみ  
前羽 宏史 院長



住所 〒567-0031 大阪府茨木市春日2-2-18 TEL.072-625-6600 URL <https://maeba-clinic.com/>  
診療時間 9:00~12:30、16:00~19:30  
休診日 木曜日・土曜日の午後および日曜日・祝日 ※事情により臨時休診になる場合があります。

## 栄養課だより DHAを積極的に摂取しましょう

栄養課  
だより

心と身体の健康になくてはならない必須脂肪酸DHA・EPA。  
しっかりと摂取するには、どのような食品を選ぶのがよいのでしょうか。

#### DHA・EPAを多く含む魚

摂取目標は1日400mg程度です。DHA・EPAは、海の中を元気に泳ぐ魚に多く含まれる脂肪(不飽和脂肪酸)です。サバ・イワシ・サンマ・ブリなどの青背の魚に多く含まれています。必須脂肪酸であるDHA・EPAは体内でつくることができないので、食事して摂取するしかありません。

#### どのように摂取するのがよいの?

お刺身で食べるのが一番です。旬の魚で新鮮なものを選びましょう。焼き魚としては、サンマで1/2尾、メサシで5尾、シシャモ5尾、サバ1切で摂取できます。また保存食や非常食にも便利な鯖缶(鯖味噌煮缶)200gでDHA3000mg・EPA2200mg摂取できます。魚の身の部分に多いわけではなく、皮や血合いにも多く含まれます。サケの皮の部分にも多くのDHA・EPAが含まれているため、残さず食べいただきたいものです。これから冬の時期だとブリ大根がお薦めです。

#### どのような効果が期待できるの?

DHA・EPAは必須脂肪酸であり、オメガ3系・オメガ6系です。オメガ3系・オメガ6系の脂肪酸には抗酸化作用があり、若返りの脂肪といえます。また炎症を抑える効果が高いため、認知症の予防に役立つといわれています(記憶力・注意力・判断力・空間認知力を維持することが報告されています)。さらに、血液をサラサラにする作用が報告されており、脳梗塞や心筋梗塞の予防に役立ちます。毎日の食卓に積極的に取り入れることで、病気にならない健康な体づくりをしましょう。

#### <DHAランキング>

1. マグロ……… 2877mg
2. ブリ………… 1785mg
3. サバ………… 1781mg
4. サンマ………… 1398mg
5. ウナギ………… 1332mg

#### <EPAランキング>

- 1.マイワシ……… 1381mg
- 2.マグロ………… 1288mg
- 3.サバ…………… 1214mg
- 4.ブリ…………… 898mg
- 5.サンマ………… 844mg



# INFORMATION



## 法人ロゴマークが決定しました!!

社会医療法人祐生会の法人ロゴマークが決定しました。  
2021年12月21日、祐生会創立記念日より正式に使用を開始しております。



## 職域ワクチン接種による表彰

当法人の理念は「私たちは真心の医療と福祉を通じて地域の人々に貢献します。」でございます。茨木みどりヶ丘病院では、この理念を実践すべく、様々な地域貢献活動を行っています。その一環として、昨年、茨木商工会議所が実施した新型コロナウイルスワクチンの職域接種について、当院から医師をはじめ看護師や救急救命士を派遣し、全面的に協力をいたしましたところ、このたび、その尽力が認められ茨木商工会議所から表彰を受けました。



右：理事長 甲斐 史敏



## シャトルバスの運行

当院を利用する方の利便性向上のため、無料シャトルバスを月曜日から土曜日まで運行しています。運行経路は、当院からJR茨木駅および阪急茨木市駅を経由し循環するルートと、当院から大阪モノレール宇野辺駅を循環するルートの2経路です。運行時刻や停留所等の詳細につきましては、当院1階の掲示板およびホームページで案内しておりますので、そちらをご参照ください。



## 編集後記

最新機器の導入や病棟・外来のリニューアル等、徐々に地域の皆さんにとってご利用しやすい形へと変化していることを肌で感じています。祐生会広報として、『まごころ茨木』という広報媒体を通して皆さんに茨木みどりヶ丘病院の変化をお伝えしていけたらと思います。



広報誌に関するご意見・ご感想・お問い合わせは  
祐生会広報まで

祐生会広報  
電話番号

**072-681-5764**



midori-info@midorigaoka.or.jp



社会医療法人祐生会

**茨木みどりヶ丘病院**

〒567-0034 大阪府茨木市中穂積3丁目2-41

診療受付時間

9:00~12:00(月~土曜日) 18:00~19:30(月・水・金曜日)

休診日

日曜日、祝日、年末年始

時間外診療

24時間365日対応 お問い合わせ:072-622-1515(代表)

